

しゅつ き だいしやう せつ
出エジプト記の 第2章 1-15節から、モーセの
わか ものがたり よ
若いころの 物語を 読んでみましょう。その後、
しゅつ き だいしやう せつ
出エジプト記の 第3章 1-17節で、モーセが、
エジプトから 人々を 導き出すようと 神様に
め だ とき ものがたり よ
召し出された 時の 物語も 読んでみましょう。

むすめ ようし
パロの 娘の 養子に なった
わたしは エジプトの 教育を 受けたが、
へぶる人の子だったので、神の方法も
し
知っていたんだ。

ものごと
パロの 物事の
やり方は、
ガミさま
神様の
やり方とは
ちがうなあ。



きやうやくせいしよ で しんこう ひと
旧約聖書に 出てくる 信仰の人
モーセ

むすめ かわ おとこ あか
パロの 娘は 川で 男の 赤ちゃんを
みつけた とき、モーセという 名前を
つけました。そして、赤ちゃんの 世話を
うば ひつよう
してくれる 乳母が 必要だったので、
あか じつ ははおや ひと
赤ちゃんの 実の 母親だった へぶる人に
その子の 世話を し続けさせたのでした。



エジプト人の物事のやり方の多くが、神様のやり方とは反対でした。

けれども、生まれながらのヘブル人としてモーセが受けついで神様への信仰と神様の真実は、モーセからはなれることはありませんでした。

モーセは、神様とその民に仕え、エジプトのそくばくからヘブル人を解放して神様の約束の地へ導くという、信仰の人生を歩んだのでした。

「しかし実際、彼らが望んでいたのは、もっと良い、天にあるふるさとであった。だから神は、彼らの神と呼ばれても、それを恥とはされなかった。事実、神は彼らのために、都を用意されていたのである。」(口語訳聖書、ヘブル人への手紙 11:6)

文:エバン・カレン 絵:ディディエ・マーティン 彩色:ステファン・ミーラー デザイン:ステファン・ミーラー

出版:マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2016年、ファミリーインターナショナル "Faith-filled Models from the Old Testament_Moses"--Japanese

関連の読み物はこちら ⇒ 信仰、神の偉大な人々